

日本ソーシャルデータサイエンス学会 2025 年度事業報告

■日本ソーシャルデータサイエンス学会 2026 シンポジウム&研究発表会

実行委員会の尽力により、今年度は 2 社より協賛をいただいた。これにより、トートバッグや名札の作成、および研究発表会における「賞のネーミングライツ」等の施策を展開した。

1 日目夕方に開催したネットワーキングの参加費を無料化し、現地参加者全員が参加する活発な交流の場を提供できた。

- ・日時：2026 年 1 月 24 日（土）・25 日（日）

- ・場所：長崎

- ・テーマ：データサイエンスと社会の共創

- ・参加状況の主な内訳（申込ベース：計 50 名）

正会員：19 名／学生会員：2 名／非会員：9 名／高校生：11 名／その他、関係者：9 名

- ・研究発表会および表彰

2 日目の研究発表会において審査を行い、以下の通り各賞の授与を行った。

- ・最優秀賞

「ラインブレイクの発生確率とゴール期待値を統合した LineBreak_xG モデルの構築」

八木翔摩（静岡大学）、市川淳（静岡大学）、一ノ瀬元喜（静岡大学）

- ・一般発表部門 優秀賞

「ネットワーク分析を用いた地方環境研究所の特性解析」

豊永悟史

- ・学生発表部門 優秀賞

「災害時における 2 次医療圏医療資源配分と搬送最適化」

阪野朱音（順天堂大学）、大場春佳（中央大学）、水野信也（順天堂大学）

- ・学生発表部門 エス・ビー・エス特別賞

「式場をめぐる悩みの変遷と挙式者・ゲストの満足構造—BERTopic によるテキスト分析—」

高島希野花（東京理科大学）、朝日弓未（東京理科大学）

- ・高校生チャレンジ発表部門 優秀賞

「「使う」から「活かす」へ～ICT 教育の深い活用～」

中野友稀、酒井琴子、松井大和、柴野聖陽（浜北西高校）

■経営科学系研究部会連合協議会令和 6 年度データ解析コンペティション（共催）

HP：<https://jasmac-j.jimdofree.com/> ※例年学会として「研究奨励賞」で授与

2026 年 3 月 19 日：研究奨励賞

受賞者：（チーム名） チーム UEC データ工房 2025

■ J-STAGE への論文誌掲載

論文公開サイトとして J-STAGE の登録を行い、論文誌の移行が完了した。

また、運営面に関しては

- ・ジャーナルの発行の継続
- ・月1回程度のメールマガジンの配信
- ・会費請求の電子化（メール請求）を引き続き継続しております。

以上